



氏名 坂本親宣

年齢 58

所属 鹿児島医療福祉専門学校

## 立候補の趣旨

臨床現場では21年間にわたり運動器疾患の患者様に携わり、そして教育現場では16年間にわたり学生に運動器疾患の理学療法について教授してまいりました。また、看護師、介護士、保育士や一般市民に対して腰痛のメカニズムをテーマとした腰痛予防の講演を積極的に行ってまいりました。さらには研究分野としてWCPTや日本理学療法学会大会での学会発表、理学療法学や理学療法ジャーナルなどへの論文執筆に力を注ぎ、以前、運動器専門理学療法士として認められました。わが国は高齢者人口の増加により、健康寿命の延伸が求められております。よって運動器疾患を罹患する高齢者が増えてきました。また運動部活動が本格化されてきていることによりスポーツ外傷を発症する小中学生や高校生が年々多くなってきました。このように子どもから高齢者まで運動器疾患を罹患、発症する可能性が増加してきた時代背景のなか、運動器疾患の理学療法は多様化し、画像診断、評価、治療と多面的なアプローチが必要となってまいりました。わたしの理学療法士としての目標は、これまでに獲得した、また今後吸収していく知識や技術を国民のみなさまに還元し、運動器障害を持ちながらも自宅で生活していける能力を回復していただくこと、さらにはそのような環境を構築していくことです。そこでこのたび、日本運動器理学療法学会の理事選挙に立候補させていただきましました。微力ながら、学会の発展に寄与させていただきたいと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

## 役員歴

第10回兵庫県理学療法士学会会長 平成8年4月から平成9年7月まで  
日本理学療法士協会代議員 平成12年4月から平成16年6月まで、平成24年4月から平成27年3月まで  
兵庫県理学療法士会理事、社会局長 平成12年4月から平成17年3月まで  
第43回近畿理学療法学会大会準備委員会財務局長 平成14年6月から平成15年12月まで  
第43回日本理学療法学会大会準備委員会事務局渉外部長 平成18年3月から平成20年5月まで  
福岡県理学療法士会理事、社会局長 平成19年4月から平成27年3月まで